

平成27年度学校評価実施報告書

次のとおり学校評価を実施しましたので報告します。

学校目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価	学校評価
	具体的な手立て	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		
<p>〈教育課程〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高校改革にともなう新たな教育課程の編成 ○質の高い教育内容の検討、実践 ○校種間連携の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ① 高校改革にともなう新たな教育課程の編成。 ② 現在より質の高い教育内容について検討。 ③ 校種間連携（保・幼・小・中・大学）の更なる充実 	<ul style="list-style-type: none"> ① 高校改革にともなう新たな教育課程の編成状況。 ② 授業内容の改善策。 ③ 校種間連携の必要性の認識。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 様々な学校を見学し、教育課程の基盤に参考となった。 ② 言語活動を重点的な課題とし、様々な教科でグループ学習を取り入れた授業を実践できた。 ③ 校種間連携（保・幼・小・中・大学）で、全ての校種と連携をとり、スキルアップに努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 本校の特色を盛り込んだカリキュラムを検討した。今後、教育課程に合わせた施設の整備も検討する。 ② 日々の授業実践の中で、言語活動を充実した授業を全職員が展開することが重要である。 ③ 今後も継続することで、校種間連携をより充実させていく。 	<p>（学校評議員）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が自ら勉強していくような環境づくりが必要である。 ・校種間連携（保・幼・小・中・大学）については、すべての校種間との連携をとり、連携校も良い刺激を受けるとも助かっている。 	<p>（学校評価）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿題や自学自習については、自分の課題として捕らえていけるような工夫が必要である。 ・校種間連携（保・幼・小・中・大学）については、すべての校種間との連携をとり、高評価である。
<p>〈生徒指導・支援〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○交通安全教育の強化 ○生徒の適性や希望に応じた指導 ○いのちの教育の推進 ○いじめ防止の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ① 地域と連携を継続し、自転車の運転マナーの向上に努めていく。 ② 様々な場面で「いのちの教育」（食育、薬物乱用防止、性・エイズ等）を実践する。 ③ 年3回、定期的にいじめに関するアンケート調査を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 登下校指導を積極的に実践できたか。 ② HR指導、学校行事、授業を通じ、「いのちの教育」を実践できたか。 ③ アンケート調査で、未然防止・早期発見につながったか。 ④ 基本方針・対策マニュアルに基づき、適切に対応することができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 交通安全教育で、厚木市、神奈川中央交通と連携したドライブレコーダーによる講習会を行った。HR指導をはじめ、学校行事においていのちの教育（食育、薬物乱用防止、性・エイズ等）に係る指導を行うことができた。 ② 年3回、いじめに関するアンケート調査を行なった。そのことが、いじめの未然防止・早期発見につながった。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 地域との連携を継続して、自転車の運転マナー向上、交通事故に巻き込まれることのないよう、交通安全指導を実施していく。 ② HR指導をはじめ、学校行事においていのちの教育（食育、薬物乱用防止、性・エイズ等）に係る指導を継続する。 ③ いじめに関するアンケート調査を継続し、いじめの未然防止・早期発見につなげる。 	<p>（学校評議員）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車マナーもよく自転車事故防止に向けて先生方がよく努力している。 ・いのちの教育に関して、日常指導も含めよく指導している。 ・いじめに関する対応について、保護者の対応が変わってきているので、より個別の対応が必要になってきている。 	<p>（学校評価）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テスト期間後に自転車事故が多いことを分析し、その期間に事故防止について重点的に呼びかけることで自転車事故が減ってきている。 ・いのちの教育について授業、特別活動、講和等、年間を通して指導を継続してほしい。 ・いじめの問題については、発覚したときには初期対応を早くしてもらいたい。
<p>〈学習指導・授業改善〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生徒学力の適切な把握 ○基礎学力の定着 ○学力向上を図る授業 ○授業改善の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ① 授業アンケートを活用し、授業改善に努める。 ② 学習目標をしっかり立てさせ、週末課題等を課すことで、家庭学習を確立させる。 ③ 各種資格・検定試験の積極的参加を勧める。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 授業アンケートが活かされた授業を展開できたか。 ② 自宅学習の習慣化が身についたか。 ③ 英語検定等の受験者が増えたか、 	<ul style="list-style-type: none"> ① 前回と結果を比較し、改善できたかが見られるようになった。 ② 週末課題の効果が表れてきている。 ③ 各種資格検定等に対する意識が少しずつ変化してきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 今後もさらに細かく分析していきたい。 ② 発展問題への取り組みを指導していきたい。 ③ 様々な資格検定試験等を生徒に周知していきたい。 	<p>（学校評議員）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習については、家庭で行われることなので、家庭の協力が必要である。 ・各種資格検定試験等をどのように単位に反映させるか見当が必要。 ・自学自習の力を高めるためには、環境づくりが必要であり、自習室を作るなどの工夫も必要である。 	<p>（学校評価）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の多くが、もう一歩踏み込んで、その知識に基づき課題解決につなげられるように学習していくことが重要である。 ・自学自習のための環境づくりが必要。 （改善方策等） ・学年制のカリキュラムマネジメントに学校全体で取り組む。 ・家庭学習については家庭との連携を深める。

<p>〈キャリア教育〉 ○生徒の適性に合ったキャリア教育の推進 ○もう一つ上の進路実現 ○専門コースの発展と部活動の振興 ○生徒会による積極的な行事運営 ○文化的活動の振興 ○運動部活動の強化</p>	<p>① 校外実習プログラムは、より直接的な体験ができるよう検討する。 ② 学校行事の運営に生徒会執行部、各種委員会が積極的に参加する。 ③ より多くの生徒が参加できる新たな部活動の設置を検討する。 ④ 運動部活動の競技力を向上させ、学校全体の活性化を目指す。</p>	<p>① 校外実習プログラムへの参加によって、生徒の満足度を高めることができたか。 ② 生徒会執行部、生徒常任委員会で、行事の実施状況等の反省会議を行い、生徒中心運営の達成感を検証する。 ③ 部活動加入率が運動部、文化部とも前年度を上回ることが達成できたか。 ④ 競技力が向上し、学校を活性化できたか。</p>	<p>① 近隣の保育園や幼稚園への校外実習に参加し、貴重な体験を行うことができた ② 文化祭、体育祭などの行事に対する生徒会執行部、各種委員会の取組み姿勢に積極性が見られた。 ③ 新たに演劇同好会、ヨガ同好会を設置し、それぞれ大きな成果を挙げ、文化部の活性化に努めた。 ④ ゴルフ部、弓道部が全国大会出場、女子バレーボール部、サッカー部、ソフトテニス部が関東大会出場を達成した。</p>	<p>① 校外実習プログラムについては、地域との連携を更に深めた体験的な実習となるよう実施場所についても検討する。 ② 進路指導室の効果的な活用を検討する。 ③ 生徒会執行部、各種委員会の更なる活性化を図る。 ④ 部活動の様々な交流を推進し、スポーツや文化的な活動を通して地域の活性化に貢献する。</p>	<p>(学校評議員) ・進路の中で就職が増えているが、第一希望が就職なので、その方向性はよいと思う。 ・部活動のさまざまな交流が小中学生にとっても良い影響を与えていて素晴らしい。</p>	<p>(学校評価) ・校種間連携を継続して実施していることが重要である。 ・数年前と比べ生徒主体の行事運営ができるようになってきている。 ・部活動の様々な交流は、生徒自身のリーダー力も伸ばすし、小中学生にも好評であり継続することが重要である。 ・ヨガ同好会や、演劇同好会など、魅力ある部活動を増やしている。</p>
<p>〈地域等連携〉 ○情報発信、広報活動の推進 ○小中高大連携の推進 ○地域との相互協力の推進</p>	<p>① ホームページの積極的な活用を図る。 ② 継続して小中高大学との連携授業の向上に努める。 ③ 地域の懇談会とともに厚木市との連携をより充実できるよう努力する。</p>	<p>① リアルタイムにホームページを活用できたか。 ② 小中高大学との連携授業により、授業改善の手立てとなったか。 ③ 地域や厚木市との懇談会を通して、学校の課題を見つけられたか。</p>	<p>① ホームページは、内容を精選して見やすくし、保護者への配布文書を掲載した。 ② 小中高大学との連携授業により、相互の教育実践、研究の質を高めることができた。 ③ 地域や厚木市との懇談会を通して、厚木北高校のPR、教育改善に生かすことができた。</p>	<p>① 画像等を HP に掲載することで、本校の特色をさらに際立たせていくこと。 ② 小中高大学との連携授業により、相互の教育実践、研究の質を高めることを継続する。 ③ 地域や厚木市との懇談会を積極的に開催する。</p>	<p>(学校評議員) ・小中高大の連携についてより一層深めていきたい。 ・地域との連携をさらに強化していただきたい。</p>	<p>(学校評価) ・ホームページについては、基礎ができているので、学科改編に向けてのアピールが必要。 (改善方策等) ・カリキュラム等も含め、学科改編について総合的にアピールする。</p>
<p>〈学校運営・学校管理〉 ○安全・安心な学習活動のための教育環境の整備 ○防災の推進と地域協働安全体制の構築 ○事故・不祥事の防止 ○図書館機能の強化</p>	<p>① ボランティア事業を年間行事に組み込み壁等補修作業を継続していく。 ② 長期的計画に則り、生徒用備品を整備して学習環境を整えていく。 ③ 地震防災・安全管理マニュアルを見直して改良する。 ④ 地域と連携した防災体制を整える。 ⑤ 授業利用・情報発信センターとしての図書館機能の強化を目指す。</p>	<p>① 新たな箇所を修繕することができたか。 ② 計画的な備品等購入を進め、さらに学習環境を整えることができたか。 ③ マニュアルの見直しを行い、最善の管理体制を整えることができたか。 ④ 地域との連携を踏まえた防災体制に向けた検討ができたか。 ⑤ 授業利用・情報発信センターとしての図書館機能の強化ができたか。</p>	<p>① ボランティア作業を通して壁等の修繕を進めることができた。 ② 生徒用机、椅子等の備品購入を進め、学習環境を整えることができた。 ③ 地震防災・安全管理マニュアルの見直しを行い、校内管理体制について、簡素化、明確化することができた。 ④ 地域との連携を踏まえた防災体制について検討を進めた。 ⑤ 図書館の授業利用、自習利用、情報発信センターとして図書館機能を強化することができた。</p>	<p>① 生徒を主体とした大掃除等を活用した美化活動を行いたい。 ② 学校の特色をふまえ、メリハリのある学習環境整備を考えていきたい。 ④ 災害にそなえて職員全体の危機意識を高め、防災訓練を再検討したい。 ⑤ 地域と連携した防災ネットワークを検討したい。 ⑥ ICTを含めた図書・視聴覚機器の充実を図り、さらに図書館利用の強化を図る。</p>	<p>(学校評議員) ・学校の特色を踏まえた学習環境整備は必要である。 ・防災訓練等、災害に関する地域連携の意識をさらに高めてほしい。</p>	<p>(学校評価) ・学習環境整備については、改編推進委員会でよく検討していくこと必要である。 ・ICTを含めた図書・視聴覚機器の充実が必要である。 (改善方策等) ・教員と生徒が一緒になって美化活動に取り組む。 ・改編に伴い、学習環境、ICTの整備について検討していく。 ・地域との連携した防災ネットワークや防災訓練には継続して参加していく。</p>